

## 文教厚生常任委員会県外行政視察研修報告書

文教厚生常任委員会では、平成28年5月17日～19日の3日間、兵庫県相生市・広島県広島市・兵庫県神戸市にて視察をしてまいりました。参加者は、石岡祐二委員長、若見孝信副委員長、大河原千晶委員、岡村浩雅委員、福田克之委員、矢澤功委員及び事務局職員1名であります。出発前夜に久しぶりの緊急地震速報が携帯に入り、出発地の茨城空港がある小美玉市が震度5弱の地震があり、地震の影響が心配されました。また、オバマ大統領の広島来訪の決定があり、広島市長が本部長となる「大統領受入本部」が設置された時期の視察に、ご迷惑が掛からないか心配でした。

茨城空港から出発し、初日の視察先の兵庫県相生市では「子育て応援施策」について、2日目は、平和学習の取り組みについて、広島県広島市で「平和記念式典の概要」について、県内平和記念式典派遣団の研修地「厳島神社」、「平和記念公園・平和記念資料館、原爆ドーム」、「呉市海事歴史記念館・大和ミュージアム」を視察、3日目は兵庫県神戸市の総合福祉センター（しあわせの村）と総合児童センター（こべっこランド）で「施設の概要と事業内容」について研修を実施しました。また、研修地先の相生市で温泉施設を備えた「道の駅あいおい白龍城」、神戸市で「兵庫県立美術館」を見学しました。3日間で9ヶ所を視察する大変厳しい日程ではありましたが、有意義な研修となりました。

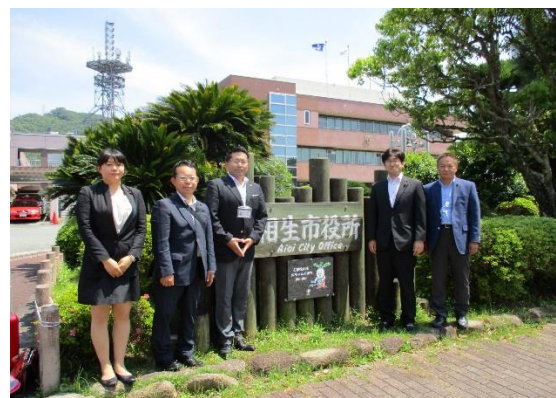
### ○兵庫県相生市

#### 「子育て応援施策について」

5月17日に訪問した兵庫県相生市は、穏やかな気候と風土に恵まれた瀬戸内海に面した市です。また、JR山陽新幹線の停車駅で、新神戸駅に30分、広島駅に60分に位置する交通の要衝であります。

1907年の播磨船渠（現・(株)IHI）の設立以来、戦後の経済成長とともに発展を遂げました。しかしながら、最大4万2千人を有していた人口が、かつての企業城下町は企業の縮小、そして現代社会が取り巻く問題である少子高齢化などにより、人口は平成22年に3万1千人

相生市役所



まで減少、特に15歳以下の年少人口の割合は県下市町で最低の数字となってしまいました。このような危機的背景から平成23年4月1日「子育て応援都市」を宣言し、子育て世代をターゲットに定住促進を図ることとし、地域全体で子育てを支えていく体制を整えました。

定住促進関連事業は「11の鍵」と称し、新婚世帯の家賃補助や、定住者の住宅取得奨励金、市内学校給食無料化、市立の幼稚園の保育料無料化など若者世帯への定住促進施策を約3億1千万円の予算をかけて行い、市内外へPRを展開しています。

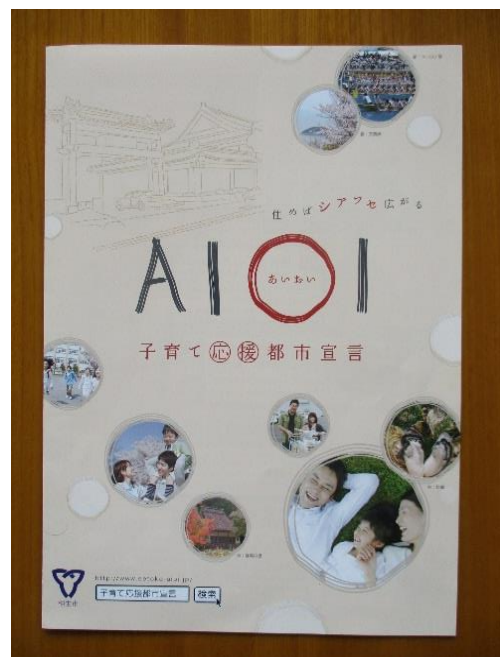
事業開始時は「なぜ、子育て世代だけの支援なのか」「食に関しては保護者が負担すべきではないのか」「財政的に続けていけるのか」などの反響があったものの、実施後は事業に対し好意的な意見も増えてきました。特に給食においては、地元の食材を使い、栄養バランスも考え、『食育』という観点で事業を実施している姿勢が評価されています。また、実際に定住施策開始以降、社会増減の減少幅が約半分に減っています。さらに、平成27年度末には社会増減がプラス92人となり、施策に一定の効果があると認められます。

しかし、定住者を増やすということから考えると、住宅を新築または購入し、定住の場として相生市を選んでもらうためには教育・子育て支援や住宅取得助成のみでなく、住環境や交通の利便性などの要素も大きく、事業のPRと分析の継続が必要と、今後の課題として考えています。

地域ニーズ、実情を自治体が把握し、的確な事業計画をたてていくことに加え、子どもが成長した後も住みつづけられるような施策を、課題を共有する近隣の自治体と連携し考えていくことも必要になってくることになると思います。相生市では産婦人科がなく、その課題解消と妊婦の負担軽減として、妊婦が医療機関や外出の際に使用できるタクシー利用券の給付や、通院等で労力・交通費負担軽減として出産祝金を贈るなどの事業がありますが、こういったことも近隣の自治体と連携していく要素のひとつとなると感じました。

長く継続していく事業とのことなので、今後も相生市の動向に注目したいと思います。また、さくら市においては、同じように人口減少の課題に取り組んでいかななくてはならないことから、視察研修で学んだことを市政に活かしていきたいと思います。

#### 子育て応援都市宣言パンフレット



# KEY 11の鍵

子育て応援都市のまち、相生  
 あいおいが暮らしやすい

**01 家賃を毎月1万円補助します!**

～新築世帯家賃補助金交付事業(平成26年4月～平成28年3月)～  
 市内の民間賃貸住宅を契約し入居された新築世帯に、3年を限度に毎月1万円(総額36万円)の家賃補助をします。  
 (婚姻3年以内で夫婦どちらかが40歳未満の家庭に限りです)  
 事業期間内に申し込みました方は平成28年3月以降も3年を限度に補助します。

あいおい 相生 子育て支援課 / TEL.0791-23-7125

**02 家を購入された世帯に最大80万円の奨励金!**

～定住者住宅取得奨励金交付事業(平成26年4月～平成28年3月)～  
 市内に住宅を新築又は購入された40歳未満の世帯に50万円及び市外からの転入者で住宅を新築又は購入された世帯に30万円(年齢制限なし)を交付します。  
 (中古住宅はいずれも半額助成)

あいおい 相生 子育て支援課 / TEL.0791-23-7125

**03 妊婦さんの不安解消**

～マタニティタクシーサービス～  
 妊婦さんが医療機関や外出の際に利用できるタクシー助成券(10,000円)をお渡しします。

あいおい 相生 子育て支援課 / TEL.0791-22-7168

**04 お子様のご誕生にお祝い金!**

～出生祝金支給事業～  
 相生市にお住まいの方が出産した場合、出産にかかる費用負担に配慮し、お祝い金として5万円を贈呈！子育て支援課へご連絡ください。

あいおい 相生 子育て支援課 / TEL.0791-22-7175

**05 15歳までの医療費が無料!**

～幼児医療等・こども医療費助成事業～  
 中学3年生までの医療費は無料です。(所得制限あり)医療機関等の窓口で受給者証をご提示ください。

相生 子育て支援課 / TEL.0791-23-7154

**06 "子育て応援チケット"をプレゼント!**

～子育て応援券交付事業～  
 お子様が誕生された世帯を対象に3歳になるまで利用できる「子育て応援券(20,000円)」をお渡しします。チケットは延長保育や予防接種などにご活用いただけます。(転入の場合は金額が異なります)

相生 子育て支援課 / TEL.0791-22-7175

**07 保育料が無料です!**

～保育料軽減事業～  
 市立幼稚園の保育料は無料です。また、私立幼稚園や保育所の場合には月額8,000円を限度に支援します。

あいおい 相生 子育て支援課 / TEL.0791-23-7112  
 子育て支援課 / TEL.0791-22-7175

**08 4歳・5歳児の"あずかり保育"やってます!**

～市立幼稚園から保育事業～  
 市立幼稚園では希望する4歳児及び5歳児を対象に月額5,000円で実施しています。  
 (通常保育終了後15時30分まで)

あいおい 相生 子育て支援課 / TEL.0791-23-7142

**09 幼稚園でも給食があります!**

～市立幼稚園給食事業～  
 水・水・木曜日の週3回、市立幼稚園の給食を無料で実施しています。

相生 子育て支援課 / TEL.0791-23-7143

**10 幼・小・中学校の給食費は完全無料!**

～給食費無料化事業～  
 豊富な創立メニューと栄養バランスのとれた給食を完全無料で実施しています。

相生 子育て支援課 / TEL.0791-23-7143

**11 現代版の寺子屋**

～相手っ子学びの場事業～  
 小学5、6年生の希望者を対象に、放課後の帰場所づくり、自習力と基礎学力の向上を図るため、週1回程度、国語と算数の学習塾を実施、月1回程度英語教室を無料で実施しています。

相生 子育て支援課 / TEL.0791-23-7144

子育て支援課 子育て支援係 / TEL.0791-23-7142

子育て支援課 子育て支援係 / TEL.0791-23-7142

子育て支援課 子育て支援係 / TEL.0791-23-7142

## 広島県広島市、廿日市市、呉市

### ○ 平和学習の取り組みについて

5月18日は広島県広島市を訪問しました。

広島市は平和都市として原爆被爆の歴史を乗り越え、中国地方の中核都市として発展してきました。また、翌週にオバマ米大統領訪問を控え、市内には緊張感が漂っていました。

今回は、中学生代表の平和記念式典派遣、平和学習の取り組みの観点から、広島市役所で平和記念式典の概要を、中学生代表派遣団の研修コースとして、厳島神社、平和記念公園、平和記念資料館、原爆ドーム、呉市海事歴史記念館・大和ミュージアムをそれぞれ訪問しました。

詳細については、世界文化遺産の厳島神社では文化財理解の観点から、平和記念公園、平和記念資料館、原爆ドームで戦争の悲惨さと式典会場の現地確認、呉市海事歴史記念館・大和ミュージアムでは平和の大切さを学ぶためです。

昨年の被爆70年目の節目となる平和記念式典には、海外から過去最多の100ヶ国の代表や被爆者・遺族など約55,000人の参加者があり、小・中学生の参加者も年々増加し、会場内の自治体のイス席だけでも1,424席を用意されました。また、当日の市役所業務は、休日の窓口業務

広島市（研修風景）



となり、平和記念式典の運営・警備に1,155人の市職員全員を動員されました。

担当職員からは、広島市としては是非とも中学生だけでなく、自治体職員の派遣もお願いしたいとともに、式典に加えて次世代を担う青少年によるイベント「ヒロシマの心を世界に」への参加や、上記に述べた研修コースも訪問して、体で学び、戻ってからの報告会など含め検討していただきたい。そして最後に、多くの広島市民は「他の人に同じ思いをさせない」と話されました。

今定例議会には、今回の視察と、栃木県内で派遣を実施している10市町を参考にして、慎重審議に努めたいと思います。

広島市平和記念公園



◎中学生派遣団研修地

広島市 平和記念資料館



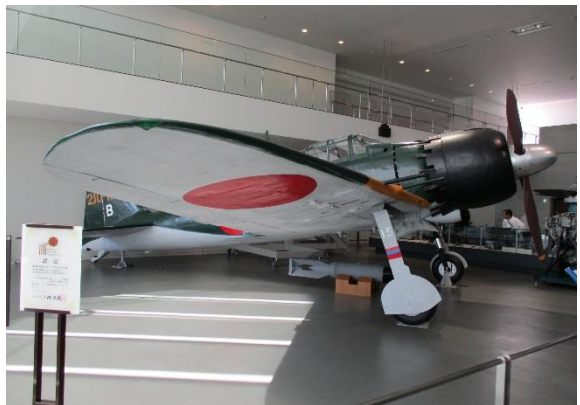
原爆ドーム



廿日市市 厳島神社



呉市海事歴史記念館・大和ミュージアム 1/10の戦艦大和・零式艦上戦闘機



## 兵庫県神戸市

### ○総合福祉センター（しあわせの村）について

5月19日は兵庫県神戸市を訪問しました。

神戸市は瀬戸内海と六甲山系に接する異国情緒豊かな港町です。2008年10月にユネスコ創造都市ネットワークに加盟し「デザイン都市」に認定されました。更に、「環境貢献都市 KOBE」の実現を目指し、今後アクションプランに掲げた「2020年に向けた20のプラン」を推進中です。

神戸市の総合福祉センター（しあわせの村）は、約400億円の造成費用で、総面積205ha（甲子園球場約50個分）の広大な敷地の中に、高齢者や障がい者の自立や社会参加を支援する福祉施設と市民がリフレッシュできる都市公園を一体的に整備し、平成元年に開村された複合施設です。

平成27年度の年間の利用者は、約190万6千人で、1日平均5000人を超える利用者の計算となり、我々が視察に行った日も午前中から大変な賑わいがありました。特に屋内のトレーニングジム（フィットネスジム）では沢山の利用者が汗を流しており、利用者の顔がとても充実しているのが印象的でありました。

財政規模が違うので、この施設・設備をそのままさくら市に導入することは難しいが、高齢者・障がい者の自立を援助する福祉施設の近くに、スポーツ・レクリエーション施設を併設するなど今後検討に値すると思いました。

#### 総合福祉センター（しあわせの村） 広大な敷地に福祉施設・屋内運動施設



## 兵庫県神戸市

### ○総合児童センター（こべっこランド）について

神戸市総合児童センターは、昭和 62 年 11 月に開館。地上 8 階建てで 1 階から 4 階は「こども家庭センター（市児童相談所）」、4 階から 8 階は総合児童センター「こべっこランド」で使用している。開館当時より、神戸市社会福祉協議会が運営し、平成 18 年度から神戸市指定管理者として受託しています。施設の利用状況は、年間で約 42 万人、1 日平均約 1300 人が入館しており、年々入館者は増加しています。

施設の特徴としては上述の通り、こども家庭センターと大型児童館が併設され、相乗効果を発揮させることを目的としている。また大型児童館へ行くついでに児童相談所にも行くといった意味合いで、心理的抵抗の減少にも寄与していると思われる。

機能的な特徴として、児童の健全育成機能と療育指導機能を持った大型児童館で、特徴の 1 つとして、療育指導事業（発達クリニック）をこべっこランド・こども家庭センター・大学研究グループ三者による相互連携して行われている点であります。近隣大学の教授等が講座・教室を受け持ち、専門的視点からのアドバイスが受けられる事業になっています。

また、「発達障がい」ではなく「発達がゆっくりなこども」という表現をしています。発達に個人差があり、「発達障がいは発達しない障がい」でなく、「人よりゆっくり発達する障がい」のことだと思い、その表現の点も勉強になりました。

療育指導事業は、さくら市でも実現可能と考えるので、今後検討して行きたい。

総合児童センター（こべっこランド） 8 階建ての施設・研修風景

